野今雅編輯

神学ものがたり

初編

彩霞樓主人撰

和俗童子訓

官許

環翠堂藏

人たるの身を備の智識開き才藝を長ぜ
ざるべからざるは論を俟たず是豈學校の設あるを
不待して日用の事業言語書算等なり況
や官農商の工技藝及び法律政治天文醫術
等の凡百のことごとく学ばざるべからざるの
事業人々各々其才のあるところに応じ勉励して
これを行ふべし一生涯の後初て生を治め産を興し
業を昌ならしむるを得べし

一 方今萬國交際の所以いたり

せん拾遺抄ゝ歌ゝ家業ゝ意ゝ俳諧ゝ潤ゝ
家産を破るゝ者ゝ多ゝ
を勉強ゝ
一
俳の狂の字ゝ
事の附箱ゝ
のゝ
隠ゝ
墨蹟ゝ
好ゝ
用ゝ
狂の字ゝ

一
俳を俳諧中ゝ俗ゝ
四季の童少年ゝ
句ゝ
学ゝ
狂俳ゝ
俳諧ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ

第一まことあらむ雅

一 俳名を猶ほ[illegible]て雅号を称し八月十五日
月とさへ[illegible]の物のことごとく熟字典故
なく名付ける雅名あるを集冊家の
ホコラブルに外見を知ること多し名付ける
ものも人物もアルカ[illegible]ものたるを博学先生
つきて雅名を乞ふ

一 [illegible]を晩学にして書[illegible]ものたるを
おのゝ好む所の法帖を購ひて[illegible]

おもふ[illegible]惡筆の書を[illegible]句もつくるなり
たり 但あやまり字のおそき悪筆の
手本なと用ひべからず

一 附句の第一は勧善懲惡乃意を専ら[illegible]
向上の一路に[illegible]の学に眼をけ
思ひを八方に[illegible]

一 作麻呂の[illegible]一切用ひ[illegible]開明の作者
[illegible]あきて庭訓の句を探さむ[illegible]ハ新叢明
乃妙句を案ず

一 ヲリ句天地の附句ハ四季の景物と[illegible]切字

目耻くして捨句多し切字季に心を用ゆへし

一 四季部類ハ冊子必机邊に置て案ずべし

題によりて眼をつけ其事情を深く案じ一
句を案ずべし たとへば塗骨障子も夜着張障
子も同じ事なれど古句服をくり出して作し句
きはめて作りぬ句多し 塗骨をぬりたる場
所なる人又夜着を夜着のもちたる場所をいひ作
るべし 其上何ぞの事をも内儀女房婢とかな
同断ハいひ奥様の上臈に婢の古句もかはるべし

作し句をきはめて捨句多し 其書く事は守てへよ
其心作人情を深くさくりてよし 拾華などの
題も夫々品物をつくさしむ位に応して句作るべし

一 春季の中にも梅を守るく桃を暖かなる情あり夏
家作るも小春の如く冬をも作り業はなく其情哉
さくりて探る事なきゆへ句を作るべし

一 腰かけなどむ手拭さし直に捨なしく男女とも手を
作り居る題ありまくさを作るに随ひ分別あるべし
腰に挟む手拭さし 其しさ捨とあるハ手を拭ふ句

とも一たの字乃あるとなきとを問ハず句作を
一録とし是ハ左様ニて一字一字ニ眼を配り
附類しなきものとす
一
眺臺楼の題ニ書く事乃ハ左ハ
湊海なるの数ハ船帆の入るを専と働かし田畑
ハ山数の汐を専と形容し
一
茅の家ハ閑静なるを太難紙ハ遠色
を信し
一
植物ハ植物生類ハ生類夏季ハ夏季ハ秋

附ハ弱かるべし（但ハ物の
の限りあり）
一
季ハ春夏秋冬動物ハ春夏秋冬ハ何れも四季をり
くりかへりのよしあり附ハ四季ハ
一
常ハ人倫ハ人間家を主かハ施してハ句ハ
狂俳師ハ家或ハ家族ハ隣ハ近所ハ連歌乃他門
ハ右ハ様ハ自然ハ雅味を失ハ業ハ化ハ
ひ
一
ひをを紅葉をハ赤ハ黄ハ黄ハ赤ハ
とせハ一ハ一ハ中ハ船あり船の中ハ

外國乃ふしきなつたへをもかたりて

一ちなみに秋の畠山左衛門佐といへる大名の名を成山畠佐衛門といへる一字なかへて左衛門の名をかりて八重山くく句ひとつをそんて舌頭に千轉をしてありしも此事たりとあるべくく業一名ひとりなへ

一或評者拾く根の紅葉コイといへる句は秀逸に出ぬるこゝろ抜きうてちり仕舞をのがれる伝しかれるの説いてきてうり彼評者も歌まようふしき思てのゆゑちたりしちり兎角粗俗の評者たる人の

廣く書をつんでるるしかれ斯いへて外評者をそしるの義のつきかゝるもの初心のうの抜の句葉を漫き物とおもひてやしなひてきかくるしかるの余の評ちりしの抜中ふし多く此義あるべしあるこゝろ出もしく人あるは廣中へ入りてたちたりへと乞乃こ

十あるこゝろ乃文字の言たるも

ぬきしこむるをちちかたしん

評者今雅しるる

巻首

霞む大路 御幸ありて開化なる

中田村巻

に飛行の栽 門まで述て毎ず

吉濱村巻

大陽落て柱 除秋の新修肉鍋

小垣江村巻

紅でかくのし 鴨よ毛着て化て来い

チタ 成岩巻

祝の花 はよ東條の尖焙

神木連 於嘉志齊

て参らのひ 四季の間も此す遠ふ

常盤連巻

万葉みよく 鶯の君真耻てつ心

佐脇村巻

ますとめぐる あはれ上手で妙語言

小垣江村巻

机 室 英の寄篇へ学費法く

八丁 巴郎

咲の友 著述の結意序で見ける

タカハマ 湖月

永良村巻　千福村巻
平谷村巻　大ガツボ　ちくら
湖月　千福村巻
千福村巻
サクラ井村巻
對米村巻
川ヒヤ　柳鞠
ウラヤス　一翠

對米村巻
小垣江村巻
下村巻
ノミ　水月
レン人　共有
生田　有方
ワシツカ村巻
桂玉
サクラ井　秀同
成岩巻

二

出題 景

勘当除の美[illegible]
写[illegible]る肖像
宗化の[illegible]
かき[illegible]山
巨[illegible]でよ[illegible]
休[illegible]の友
[illegible]
ランプで[illegible]
姫の芙蓉

へ神て小路緩の風来よ[illegible]
橋子へ[illegible]
[illegible]
同[illegible]
[illegible]
エイ[illegible]人で[illegible]
ブタの[illegible]
庵へ[illegible]
[illegible]英人[illegible]
数[illegible]

松月
永良村巷
東貫
竹豆
桂水
一玉
一草
道光寺村巷

かんこ[illegible]
[illegible]大[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
紅て[illegible]
[illegible]
[illegible]婦[illegible]
[illegible]の柳
全[illegible]のよう[illegible]

[illegible]へ柳の[illegible]
[illegible]
[illegible]ロンドン[illegible]
[illegible]
ビール[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

小針村巷 立地
柳鞠
舞鶴
成岩巷
仝
西端村巷
湖月
東端村巷 水月

小垣江村巻
舞鶴
中外沢村巻
桂玉
トキハ連巻
春和
東陵
小垣江村巻
其有
永良村

巻の
正名村巻
如月
吉廣村巻
八面村巻
下村巻
中田村巻
仝

神さまく廉角
へノ言ふの橋に
石敷　氏
ゆて知ら老
呼わる経
こえ〜て呑酒
吉て帰る
鶴の鳴
帰傍〜さ師屋

映捨てさ白いまうかも
孫多く松屋ゝ約ちて孔
徒仕ゞ〜ち軍化ぜぬ
ゆたで知ら祝の苦ち
坂離〜さ孔素祝きは
孔1蓋せ場内徒文
玉巽も回垂て法庁十
鶴く衣修くつんえぬ教鞭十
鶴孔毒の祝鶴ゆは
目ちゝ〜ゆ杉かちん

一　橋
東端村巻
今村巻
對米村巻
中田村巻
有　方
米津村巻
對米村巻
中外淡巻
ち根村巻

傍い時寺
河原さ赤杉
残ひ神ち
ちちん仕方
独楽の菊
高帆の橋協傘
名　枯
蓮を天ちちを
ゆ野の秋
冠　末門

文結て徒ち見杉ゝ
沢のあ法廣細ちん
新軍好て五京ちは
法面教〜ゆ悪へう孔
英氏ちちて一行金く
金帝に一筆模文言十
牛乳の祝て杉病起ぬ
ち京へ淡ちと捨孔
会浪かちお鶏かちん
保徒〜ちち接解ぬ

細川村巻
東端村巻
今村巻
永良村巻
壽　央
如　月
永良村巻
湖　月
鳳　村
野　鶴

逸枝　小銜村巻
高棚村巻
花旭　木シツ
高棚村巻
花園村巻
千福村巻
配津村巻
大和田村巻

月　春夢　一翠　白扇　巴郎　氣月　ヲカキ村巻　柳鞠　大和田村巻

佐脇村巻
逸　枝
水　月
扇　花
小針村巻
西之郡巻
トキハ連巻
三　山
茂　り
酒津村巻

西端村巻
其　有
成　義
成岩巻
細池村巻
小垣江村巻
一　翠
月　庭
其　巻
東　陵

陪史　村高村巻
東陵　永良村巻
高落村巻　東端村巻
米津村巻　東端村巻
中根村巻　稲翠

岡島村巻　佐服村巻
東端村巻　山水
流水　正名村巻
桂王巻　佐服村巻
トキハ連巻
松夕

一 青

仕服村巻
岡島村巻
水 玉
如 月
岡島村巻
如 月
永井村巻
松 鶴
對米村巻

一 月

中根村巻
中田村巻
對米村巻
西端村巻
梅 月
西之郡巻
小針村巻
清 月
中田村巻

米津村巻
中田村巻
下村巻
永良村巻
安城村巻
永良村巻
吉須村巻
中田村巻
仁屋村巻
真[illegible]

米津村巻
小實
サクラ井村巻
小實
松夕

巴卯
松夕
千春
山雪
陵月
其有巻
紫扇
茶屋村巻
大和田村巻
佐服村巻

其一村巻
来原村巻
中田村巻
仝
東端村巻
サノヘ村巻
高壽巻
中外沢村巻
梅月
中外沢村巻

十一

吹こむ秋空　[illegible]鐘ねの音[illegible]　東陵

雷[illegible]　帽子きらいで帽子[illegible]　道[illegible]寺村巻

[illegible]地蔵　[illegible]化れ[illegible]長の[illegible]　巴郎

子ン子コきる[illegible]　人力なから[illegible]　千福村巻

[illegible]菊　[illegible]　玉井　花月

[illegible]　八幡　露花

[illegible]　フカヤ　一月

長カ[illegible]　[illegible]の[illegible]　中田村巻

[illegible]の[illegible]　[illegible]　仙里

[illegible]　[illegible]　[illegible]村巻

夕霧　[illegible]　梅月

[illegible]　水奥連巻

[illegible]　小垣江村巻

[illegible]　山中　大和田村巻

秋　[illegible]　梅雪

[illegible]　水月

[illegible]　中外沢村巻

[illegible]　梅月

[illegible]　東貫

ランプで[illegible]　[illegible]　西之郡巻

秀 畔

紙池村巻

竹 室

二 朝

静 月

西端村巻

成岩巻

一 窓

小垣村巻

東 陵

高棚巻

細池村巻

柳 鞠

高棚村巻

村高村巻

如 月

村高村巻

照 月

朱 石

其有巻

一　圭　巻

三　田　巻　對米村巻

如　月　巻　成岩巻

中　野　巻　對米村巻

一　翠　巻

佐賀村巻

道光寺村巻

成岩巻

對米村巻

千福村巻

中田村巻

竹　水　巻

一　花　巻

一　翠

米津村巻
中久沢村巻
千福村巻
成岩巻
千福村巻
口ヶ沢村巻
柳　鞠
サクラ井村巻
一　翠
一　朝

水　月
細池村巻
上地村巻
細池村巻
羽根村巻
梅　林
花　暁
木津村巻
某　巻

西行法師の歌
菓子盛の浪華

お霞の句に妙味加はり
八十八夜名茶もぬれ茶碗

千福村巻
八十
妓樂

田植の席
婚姻傘
百姓ぐん
地走り麦穂

金龍の伊勢参りの
笑顔又華の孫蒸無れ
婚のかり紅へしモニス
又
佐服村巻

ほかしてあり編度い
和あり
そく祝物に八ほ
ほほ一番
ほてきん

千福村巻
其有巻

如月
沈月
佐服村巻

ほてくさん
編さ
ほうれの玉世
伊予會い
一畢

軸
宋化の春

日こそ新しけれとは日々に新たなる
大師代ふるとも於ける中の四季を極悟乃眠
をおくりつゝ閑化金歩の歌もなりてきつゝ
あつめしまま日々に時々にて来のつゝく
もゆるおりおり中にそう中より接世
俳句を五肆の色ゆるゆるゆる二番とたゝ
ゆるりの四季三番の歌完七日ゆるゆるこゝ
文四維の風流士ゆゆ六大海の奇事彩若林の
名句は勸善懲悪のことを忘れ

明治聖代の文明は旧弊を一洗し農商の業
を勉強しそのいとまあるときハ風雅にこゝろ
やりして皇国はもとより支那西洋の書を借覧
眼をあそぶその上手より進えたまへと勧め
みづからは彩霞楼のあるじ令雅しるす

明治九年三月

夕まぐれ雉子の影ほそ流にあつまりぬ　秋色美
メかれ芽檢查り漏さ流くふ　上地村、
湖の底ら酸病の桐撲ちく寛穀まつ　千種生、
臼新書あぶ出来まや鉢く　瀧村、
松芝島で戦死れ祠建ツ　来山
かくれ洞去る猿見えぬ　魚月
冬椿見る事しつつ咄し雉ナ　熱倉村、
鉢手を猿ばじやあふよ　大和村、
志気裏坂薔薇くりてけり行鹿のくる　安塚村、
生鮒の出来鉄甲船のあまる　七平ム

雉子ノ峰夕時
空氣の美形より松ノ枝
ちゝ秋さしこゝ
浮世ヨコリの島ヨ
エレキ利解て富ノ柿ぬ
既ヨ 陸
毒ハ 茶
美ヨ 迎め
芦ノ 角
代ノ人の門
茶ノ 風
ヨと文字の様

ウラ町
石川
ヒン天町
ヒ方
ムカ
ヒ
コケ
ヒン
オハ
アシ
ノ
タイゲンミン
ナガ
ソノ
カヨ
ソコ
キヤ
カヨ
リ
キウ
ニウ
シボ
ドウ
ヒウ

町
クツナケ
ヨ
カ子
エイ
カク
ヒ
川シマ
シヤ
コノシヤウ
ブタ
ナバ
キウ
ショ
尾張ノ本
ブン
ツボ
デン
シン
カ
ウ

茶 吸り
敵 美 ホ 民 ハ 名 敬 吸 る
かハく 酸 さ 更
州 餘 の 美 茶
ま ま 月 方
降 ら
口 て 表 ら 出 係
秋 ハ 夕 日
ち ち と 笑 い
森 る 嘯
梅 茶 の 地
ハ 町 ア ら
ま ハ 酸 ヨ 面 ハ
ち ら れ ち 民 博 ち ら
ま ん 第 ど や て 屋 ん ち ら
美 く 学 の 美 の 為 ち ら
写 ち ち 安 博 ち し た ハ
義 を 渡 ち ち 田 を 物 る
森 ち の 希 所 ぐ と ま る
消 ち 藍 ち ち れ ち ち 掘 く
電 表 で 吸 ハ 雅 ち ち ハ
川シマ
西 博 村 、
吸 ハ 考 村 、
尾張ノ本
羅 屋
羅 村 、
磯 ハ 村 、

暮さらぬ海面　雁はよこ文字句よむなぶ　宮町　一峯
浮世今日写ぶ　採わらぬ華もあらみ　深川　冬一月
流手ナ狩者　月蹊でわらぬ様をて数　広園
聞つくり　書く後よみ、まろん　西澤村、
登り　とぶ気さ詠人詩でまる　雀山
垣越の出し　蔵しこくだき割りきナ　西河、
暮し[illegible]春　[illegible]極メて髭のむれ　山中　梅雪
京焼の大鉢　稽古札押え肉ちまん　よハシ　一郷
啼子鳥　蟷螂畜子振[illegible]あれ　西澤村、
竹ぬ人　紅海ぬ季候よきまナ　[illegible]

百ヶ日　語学役立け[illegible]　[illegible]ヤウシイ[illegible]
場罷休み内候　茶亭のたま[illegible]鶯るる　西澤村[illegible]
賣も仁露見　猪入おくり[illegible]代仕く　レン大丁[illegible]
喜[illegible]用い茶[illegible]　せめけうこ[illegible]縁あらぬ　トヨハン　常生
明ぬ玉梅の香　咲た鶏部ぬ札退く　ミノ　瀬谷村、
覚ゆ字る肴　訓提ぬき腰し[illegible]玉ナ　[illegible]
霞引一线　舟ぬクロンボ業かやれ　[illegible]
ちろんを作方　蚊を蝿っ手のくせ者ナ　クツカケ[illegible]村、
朝雪　鉄道ぬ借ぬ籍[illegible]く　安藤村
やふれ傘　婦業よまれナ海涼みる　大ワムラ　[illegible]

二ノ三
白須かへ五ハラ

篠の家
扇子もち
ちよくフラフ
赤羽の古里荒廃
姫 石塔 新
洋服の内掛
美しい白い
如女子
寿子
鶴 晴

喫煙 仕〻養子吐〻
武夕 でいろ〻鶯かた〻
笹の段銀 和 硬玉〻
スヘルで鳴る 舌 軍〻
姫 よ 美子 美 ん
ろ日曜日で自宅 接 ナ
鏡 指 出 石工 集 談
美 嫁 上 笑 子 赤 出 入 ろ
洗 兵 塚 上 ま 〻 故
煙 〻 義 車 走 〻 石 亀

山石
ろ村、
西塔村、
陸 史
鏡塚村、
石 銀
雲村、
子 経 ま、
西塔村、
石 亀

垣 ち ま 〻 〻 キ ト 〻 ま 〻
ま 燭 で 線 ま 宮 書 線 く
切 石 社 笑 花
穂 〻 ま
見 ま 〻 石 摘 笑
ホラ 吹 社 ま 七
鶴 の 育 月
姿 〻 ま
家 叶 西
鳴 考 屋 補

垣 ち ま 吹 業 宮
ま 〻 ま 線
笑 曲 社 笑 〻 和 風 修 吹 ム
全
ま 吹 ま 社 ま 人 持 引 く キ ダ 想 亭
見 ま 〻 石 摘 笑 流 ま 経 郎 五 丁 歩 り ま 〻 ま 吹
出 ま 〻 出 〻 ま 〻 蝶 赤 〻 ぬ 経 栄 ま、
海 義 〻 踊 く 形 結 う く 規 月 生
酒 と 言 ハ 社 ま 吹 て 来 談 手 屋 ま、
姫 冊 塚 ま 疲 持 〻 く 桂 玉
鳴 考 屋 補 仕 の 〻 二 筒 出 て り 経 栄 ま、

日ふさくる　三光葵ふ山荘出ゐ　二ノ四 尾チタ 半田、

積やる塊　涼しく縞れと偏又縛ナ　秋果色、

山圻動る神掛　臺灣武功よ并月集る　七 玉川

お般人さん　姓う苦情無く遊ひよふ　ミノ 瀧呂村、

茶　下　胡に露菜り宿泡ちる　西瀧村、

煙管で引く方纛　社急で何と気るのじやむ　松元一 松夕

蚊は離れ　妨ツたし孝女罪仕ちる　沓カケ 宮嶋村、

くく文字に手味　素子ん妻法華子鳴ゐ　扇友

八重　香陸　聖師芦に鸚鵡ト西ヨ　羽栗村、

切石に菩薩　盆裁なるに斃ヤク　独哉　悠

鉄　露　潮ん熱気に盛利ある　川ムキムラ 霞山

ち通り　嫁ん情悽トリヤ　ん　ミノ 瀧呂村、

ふり金に襖　格後ほれ秋秘軸はくる　細根村、

お取人さん　サツ蜜目じやかよう高メ數　ミノ 瀧呂村、

魯に旭　鳶雲積遊の受霜なるか　小牡ムラ 月並、

サ　ア　筆の言状おくのかん　中ソノムラ 清貨

茶　盛　戦争ほと聖蜷つちる　井タ 四節

大きな失数　君歩りせる此御で無い　ミノ 瀧呂村、

毎　寒　出来た胎子に笛たえれ　悟史

鶴に吸その　噂高なるつるも武聖ん　ミノ 瀧呂村、

草咲別荘　夜興をそゝるニフ釣る　稀造、

洗　髪　湯浴ぐ鏡に乳がくる　[illegible]の山

洋学コリ此集　梯子入る蛸帰るなる釣ナ　玉山

巨大な子ある気はきし　かくまひやうし[illegible]許け　岩倉　兎玉

開楼此月　和国の老父思ひ出れ　山中村、

コクリ杉山　猪ふ蜂と思ひけり　[illegible]　川シマ　春示

まゝ[illegible]　[illegible]発ぬうり継[illegible]しさう　トヨハシ　鶴琴

またもあ[illegible]　妹[illegible]しや子[illegible]なナ　尾千タ　半田、

気の上来る凡　乗味醂ふ[illegible]後溪は[illegible]　小シマ　有尚

[illegible]　破る牛乳阿[illegible]　川[illegible]村、

杜　宇　[illegible]ぬまゝに[illegible]り[illegible]る　東二ノ山ノ口　山月

一[illegible]の[illegible]芸妓　掃り仕れ心[illegible]つ[illegible]ふ　三[illegible]　波乃

[illegible]くうニフ　ミンストル此[illegible]名[illegible]く　永良村、

[illegible]は[illegible]後の失敗おもかひナ　西[illegible]村、

行く月　客去つくめ[illegible]の[illegible]ゝ　東ミノトキムラ　野城、

[illegible]外套　学[illegible]で出る[illegible]の[illegible]もナ　[illegible]村、

[illegible]　月　昆布[illegible]は素[illegible]く　川シマ　折鶴

月[illegible]の[illegible]八　出[illegible]と婦[illegible]八ぬ　七平ムラ　[illegible]松

梅[illegible]庭　[illegible]子で[illegible]此[illegible]　小田村、

[illegible]池　古[illegible]此山[illegible]よ咲く　大[illegible]村、

以上宮宗
大蔵社奥高
羅で以上宮社
地ーよりあり入
[illegible]
まつせて生る地
小山橋
新の日た神
時計神
神田人

燈火強く氣なまい　栗村、
洋俗アリ洋語で以上宮社
変れ教養社陳者高ム　畑代村、
強ーー年ある初りあさん　つ宮門色
出方初げた昌平氣ぬく　庫反
後出れ高よ年トれ　鶴塚村、
二段減換ー新る集る　川シマ　桥鞍
只入ーーこーーカバン探ふ　ーーまつよ
探るよ行ぬ出きる眠ふ　大和田村、
高苦ゆるよ為ーーく　ウラー　一年

雄子の聲まる出生ふ　法ふ　堂光寺、
神よ行ける金　神津のおりけあしたん　天王　道南
年ーーて高盆栽　海鼠　法師も玉政ナ　古呂村、
ゆるーて芸お新　ぬれ上ーれ新ーーしふ　古井村、
高ふ山ー　異て乃風呂　解る飛和新風ふ　杉山
異代村春　新号海よ異代ふる　ハクリ　その紙
ーーーーーー　一幸
ーーで客理　みーてナ
新形の庭　海ふ南た地球代ース
倫敦の溪　祝地ーれて高　柿ぬ　カヤノ村、

まれは家　潰れ帚掃く白漆る　鎚椿村、
遊放題の娘　七災の利勘定胸子心　大府、
洋酒のほろ酔　郎坊で友の旧習ろ　霞邊、
王、宰公　作料て棲跡ア引てある　トヨハシ 下モ丸
極子　川さへせる慈械廻む　栂町、
氣早な亭主　氷製月的に運ぶく　トヨハシ 一青
れ暮　楽典に添へる一そふむ　生田ムテ 学智
氣所の足蠟　文面??りて無縁出さ　フル井 みどり
彼は子州　旭りて天守堂は十字照る　ヤハキ 山紅
ぎそうれ八箭　夏引ゴマンまうてる　東月

夏木立　おみ死の裸出れ仕舞り　レン尺丁 秀友
言ん眉　日ろんい蔭つ冬く羽浄瓶　尾ハンダ 白扇
代言人の鼎　是て三ゆ刎しめ都ろ蔵ナ　七平ムラ 野松
是ハ大臣　らくるの二枚天狗　尾ハンダ 千尋
家は春　家の窓に椅子強く　クハハラ 松月
左寸の蝶松　?ゆようこみ字交て書く　東ミノトキムラ 寛之家
葬式は喚家　流れ井を雅り場君径　り義友
出入ハ七物　若い帰参りシノキくく来致　東ミノトキコチムラ 可喜
極木に於つ　家屋面遺恨飛り僕かう　野然
茶筅の塲所分　穿ちくせ数の額作向く　ヘイサカ 星松

郡ろ鰹　千代泥の集引ケぬ　大丁 白水
絃るゝ眠　銅鍋へる桝十家数　呉 日高
絆かけゝ終　秋の婦り除く写真師ナ　野田村、
為す篁ニ　とりれ高利の舗ニかゝる　本田村、
氣晴　肉瘤ニ針ニ洋医来る　楽山
救ふ耳ふせ　相嗜もなしぬせられ才ナ　宮村、
きやりて引流　うあよそて離れる場合かん　ノヽミヤ 仙子
遠なく一なれ　鱗八雲震られハ餘心　ナカラ 池狐
紗杖の菊　豊生香の壷十ちゝれ　あさき 一茶
地球儀据へた床　浮新ゟ送燕さへるけて家　あ峯、

象は朝　遊幣笑撫て池引く　ナカ子 秀木
眼ふ雨　挿メ出世て彰むす　園き、
横文字令　罫業ニちゝり　ちす来る　カハムキムラ 秀扇
下級撫ろ峯　別会等もなく洋算ニ　あ峯き、
小来る機　漁舩破損り洋工来る　素月、
世ハ塾ろ香の　乗さ網代も店り重く　中ツノ 光月
夏木立　躰操稽古し生徒出る　スクリ丁 誠心
素り息子　鍬ても来ぬ一快ニ　詩ゝ村、
入江ゟ余遊　為ゑ挪ゝ振ふ　香仙
山皆の町　布告論義し集めけふ　アミノ吉村

雲に峯　雀糞(シャクフン)おちて田うゑかな　をりも村、

引きつ筆石(イモ)　孝(カウ)鳳尾(ホウビ)かゝる縁(エン)へ来る歟　[illegible]

尺八かな鎧　樗子て書院(井)式(シキ)の節(セツ)絵(ユ)せる　学士 秋月

秋のうくに秘　いや気さまたるなせきぬ　クサヤ トチ丸

寒雨晴　二ッ出たのに引きむせる　西鶴村、

文明様の筆意　英語字書に売れ早し　ヒトクハタ 一石

雄子は聲　に油丹ぬらく鞦なりける　トロ 孫一友

推よめせる猿　巧匠(コン)ぬ縄つゝ出入引く　ヨコT 耕野

夕涼　五階をとりて笑撫ける　ナクリT 中一守

仮に笘(トマ)葺(フキ)　開拓(カイタク)は用に鍬(クハ)灌(キタ)ふ　ヨコT 野雲

もつる風　電震(テンシン)機(キ)うちる拔拂ふ　ナクリT 操心

離す若後鳥　ヒーールクみすりと路口するる　大T 希玉

撒(ケツ)人(ト)盛(シイ)九指(サイ)骨　廃(ハイ)疾(シツ)で四方(ト)みの明かな　フル井 みどり

へン　[illegible]て旅人(テ)を待てすん　朝浦村、

初(ハツ)杜(ホト)宇(トキス)　洋海よ坊に寐似合(ソ)る　ヤマナカ 梅雪

文明様巻舌　鳥(トリ)み小華(シウクワ)の墨(スミ)画(ヱ)雅(ガ)な　ヒトクハタ 小丁錦

文月に夕祭　ランプみがいた小様掃く　西鶴村、

あつう笑ひ　再勤に嬉(キャ)ッ茶る涼しい　[illegible]

雲のきうし　薬(ヤク)草(サウ)手(テ)暖(ヒイ)さ猿(サル)消(キエ)る　[illegible]村、

秋うけ西(セイヨンド)鳥　仏(フツ)の軍(グン)艦(カン)はなて回(マハ)る　ナクリT 鐵仙

寄時雨　樗紀は楠氏の碑文書し　細池村、

頼もしれの嫌　侯なんど悪癖現金な　尾千ノ [illegible]

営生は兼食　講堂わき活篤実な　半田、

[illegible]きたのは紫　卞れ蚶数石騒な　イハクラ 克玉

いけでいる杜母　洋り仕て来て家風琴　ウヘチ 雄彡

半妻飯　新家おたる懸遠ふ　カハノ 東行宙

並北まあ雲　北茶北製氷遠とみるか　樋合村、

筆乃詔さき　立よる旧里マンテルな　川シマ 彡玉

新[illegible]　稼道ぬくもよ古重塔　カウリキ 衛洞

賢老隠居　村で神葬お[illegible]な　西澤村、

秋　雲

[illegible]ころ白保　収げ足書そ茶みみて従　井 龍彡

細ろさ[illegible]　根とけ与服帳ふくむ　西場村、

おまハんもマア　志ふ路記き上蹴あれ　尾十ノ 半田、

[illegible]し秋来隠　[illegible]何まで迄しじや鶏風ふ　仝

志ろりと一卜眠　箕ふ越後の昇紀吟く　ワシタ 撰月

青田なよし　雲られぬ小姑よたへぬ春ナ　尾十ノ 半田、

せき[illegible]紀絃　夕顔離房ろ秋来味ふ　クツロケ 主鴨村、

若留れ燈　大吉楼出る擲捜ナ　仝

気象の候八日　具ぞ寄年後の二時者ハぬ　赤坂村、

[illegible]　清さ条道縁て[illegible]歎　クツカケ 高[illegible]村、

落葉する藤詩
思ハぬ島よ舟と辭く　一鄰

案の稿
布告済度裏よ出する　某村、

野才まる小字ふ
孝子名賞く其案ふ努　聖碩

証判路
解幕の御よ韓宜仕て列　井内村、

朝光
島田海港しく宏子仏　菊園主、

落花のおる
華語解けす天晴ふ　西郷村、

道中の宿
作酒お来の雅友長れ　根谷村、

菊政の梅吉
別餞先て母貞く　希友

夜宿
英揆出来る世の肱さる　小天狗

学校の入学先生
出禁で居酒場も入れぬ　坊主

呼子鳥
巫山島よ尋ねさる解舟　九谷村、

出府の土州
此夜は雪として夜中海ふ　鷲塚村、

未政て高海
若主森庵に開きしふ　仝

口ふ和布ム鍋宝
仕り作設釣切ふ　一七二

ものる
宏る袖よ琴の鳴かく　楽升

永海の三尺等
ハイ松年賞て宜風お十　涼月

八宮まつ
真筆お花く坊殿く　若葉

和般てかられ鍛
操やみつて徒刑貞く　御村、

形をもる忘
魄勢よ申世ん難揃ぬ　子義

某積的の酸
洲濱鉄橋よ休く復たく　嫩主、

夕涼

玉子饂飩　新地流れの女あ場なる　東ミノトキムラ　古芳

とちら見れ口紙　お妻出しる猟派手ナ　蹈〻、

維ナゆら方　西洋遊する奇事紫む　七平　岩松

朝　寝　おしなん童子無ん斗しる　イケハタ　藤む

眼ふさて見る鉛金　西洋曲突於気程なる　生田　有方

雪　僧　見ゆる光の出無なる　一条

涙　ひ　ちつれ雨帯くせころん　香連、

琉於ねサ九昔　神楽の修行仕とる　婁村、

鼠　雲　帰中荷箇く忘れなく　サンキヤウレン　語史

尺も時　紫　写代ナ詩歴手廣出れ　ノミ　青轩

吹乱梅の香　精子ニ星ふ茶佛身沙ナ　ミノ　徳呂村、

白地先より〻殺　純縁於教よ民縁ゝれ　フカヤ　近月

折於ね立くせる　蔵会の御ゐる芳おゐふ　熱寺村

ト　レ　なけろ仕よる流代て無ん　マチ　菜ノ香

加まろ蓬莱　手貸ス二人待しゐ数　ミノ　俵呂村、

子供の笑ゐ斬色　茶眼於月船よあ光すゞん　七平ムラ　野雲

微於しもの州　孫くるりじや猿樵しぬ　細川村、

写代樓の表　海射のなのし快旅よらぬ　コマウ　冬月

安さくゑ　神鞍驚へる額下ハ　岩倉村、

ススコ雪ふ随　著作の借よ日家なる　水奥寺　貴和

百千鳥　三尊陌へ漁夫(ギヨフ)宿(ヤト)ふ　太谷村、[illegible]

テレンフノ銭さし　拂(ハライ)ひまして駿河耳(アマ)[illegible]　七五三 錦松

衣裳屋は暑さ次　弄(アルク)り風(フウ)俗(ゾク)さ開化(カイクワ)家(キ)ナ　福地(フクチムラ) 柳女

さらりとした宗匠　おそく居る好み居つゞけぬ　川シマ 撫鞠

離子の毎姻　銀(クワン)書(ショ)の(リ)帰る所ものは　大和田村、

鼻は若き先　金四(バナ)つ(ジ)和らく所(ツメ)とやうナ　テラヾ 不二丸

八重の霞　陽(チヨ)報(オ)のれて帰る集(ヨ)る　有意く

二葉はよめ　切きてあり　喉(ビ)アおそくやう船　レンズイ こと友

著る風　フツタウサンよ猶(ヤ)通(ニ)く　ヨコイ 一雅

おけてまる新、　蛤(エン)製(セイ)活(クワツ)字(ジ)の集(チャク)る解(ト)く

蓮(レン)花(クワ)造(ツクリ)は町　打ち(?)もつ杯(?)に桂と散　ウヘノ 好之(?)

あき座は切所　世よもり勝り流る写本のある　静旭

宗化親又　樺(?)は罷つく葉　徳(?)は　大ヶ崎村、

芸(シン)洞(ナリ)簾(タカ)の列(レツ)　宗(エ)雛(ヨ)り降る宗(タマ)許(カン)に(ニ)続く　ヨシガヤ 秀月

撫(?)さちらし　ラツユ桔(?)出手かな(?)　沿ん　米崎村、

精ろ(?)虎　小皆ハどの出そろう未(?)沙ナ(ツ)　サクラ井 芸(?)京

唐(ヤ)竹(ヤ)の桂(ヤ)筆(フデ)　写意(?)(ヤク)薬(セイ)製は目方(セコンド)(カリ)激る　如月

是紀り及ハは　称(リ)要(ヨ)り(ヒ)秒(?)夢人拂(ハラ)ふ　三橋 評友

まゆひさく　宝(ハウ)丹(タン)お先の蝉(エビ)(?)通く　[illegible] 常足

山もとの鷹　蛇(?)は(?)ある活(ジ)ジヤガタラ(?)　九久井村、

二十四
生田

ちらつくフラフ　新年は賀ニ生徒集哉　有方

彌刈布糸吹　瀬戸の素白くよりてある　お蔓(?)杉月

日の出町へ たばけて戸長

無理ナ事　派手なり人力辞ハしとる哉　一葉

年の市　洋傘封嚢小判の中ぬ　カヤ村、

如何茶よりて新眼　如来る集て居　脚ト哉　茶屋村、

巻イ眠る蝶　異化ナ帰商て居派手ナ　三橋連、

洋学凝の息子　カバン提ゲ手由うく　廣風

家は白藉　翁へ義院の兼遠ふ方　陪史

無也は煙草　辞職して世を狭ふくれ　中寺

　両彼の洋婦見来し哉　西河、

渡る也鳥　三山と学校のフラフ遊ツ　エバラ　青眠

海岸の息子　旅路を見らむ海ニ山　白扇

御代は(?)の渡り　二代目は麿居罪ナ　三橋連、

新玉ふ糸　浜出雑の異化反哉　三橋連　春宮

敷　纏　芸者の喇叭は携えそる　日下

紡ぐりける衣　腰よる頸道の人が膝ナ　野田村、

初　婚　仕出しかしる島田気取く　セト村、

案山子ケ足　落日志がぎの陋習泣く　本田村、

庭前小蝶　酒好の稲穂よ素味別ナ　野田村、

叙景の町　掲示の人れこ人捕ふ　仙玉

夕涼や　汽(キ)帆(ハン)見て居(ノム)る渡(カー)り雅な　　五竜、

雅好きや　伊(ダ)達(テ)な新(セコント)形(リト)襟(エリ)ヤ　　横(ヨコ)浜　野鶴

山寄の町　石(セキ)油(ユ)会(カイ)業(ゲウ)に戸(コ)数(スウ)殖(フエ)る　　小(ホ)島(シマ)　之扇

地球論　疑いもなく源も尽きぬ　　天王　道雨

服寄　[illegible]接へ洋料(ヤリャウ)理　　[illegible]

うそりと笑ひ　不(テウ)調(ハツ)法(マツ)な麻(アツキ)[illegible]　　沓(クツ)掛(カケ)村、

青田ももも　[illegible]　　仝

情なし仕方　[illegible]田へうせた[illegible]　　池端村、

夕[illegible]　薬(ヤ)研(ケン)[illegible]　　[illegible]

商人町　[illegible](カハ)[illegible]　　[illegible](ミノ)村、

草咲別荘　[illegible]や[illegible]　　千種、

牧畜田　悪しや従[illegible]　　如(サク)月(ラ)

洋酒店　鋼(カツ)[illegible]　　梅(テラ)川(ベ)

[illegible]　[illegible]一[illegible]　　[illegible]村、

夕[illegible]　帆て[illegible]入る　　二本村、

[illegible]　[illegible]　　(イチキ)[illegible]

[illegible]紅葉　[illegible]　　[illegible]、

[illegible]　[illegible]村[illegible]　　[illegible]村、

[illegible]　ヒールの[illegible]　　[illegible]

気[illegible]日　温(ウ)飩(トン)[illegible]エレキ[illegible]　　[illegible]村、

夕ゆふ　多

南洋より第一の入り
ちゃを明る

歩行く藻ら見よ岩く　二本木村、

京出し去ッて旧とどに　行ます、

男氏ち皇国の法さに　岩月

ちゃ西洋筆の矢程守く　西条村、

京阪を輪　

年始に黄色　

雄るの解　

軍化仕るあ代　

明出に明治　

開てある庫丈

京出し去ッて旧とどに　行ます、

男氏ち皇国の法さに　岩月

ちゃ西洋筆の矢程守く　西条村、

京阪を輪　

年始に黄色　

雄るの解　

軍化仕るあ代　

明出に明治　

開てある庫丈

小学の記月　鍋塚村、

イ繋ちゃ星月ちゃ　邪馬台村、

地球の論より印度渡く　二格を叶ふ

学校試験ち就き　尾イタ半田、

法ッ新も見く洋筆ふ　ちゃ鳥村、

嘗て奈式に　台湾憲兵の警察場ふ　南洋

ふ製の毒田　手ちゃ又ッ清学こそい　枝町、

袋ちゃく製　地球の義論賢哲ふ　鍋塚村、

ふけ多路　鍋の割と洋筆ふ　梅宮

明やく条新地　陶器の瑞帝陽ふ　成吳

軍化孔に寄治　猿に入墨ちゃく字ふ　八月

尺ちゃ製　風船下りて国岸ふく　死球村、

清化縣の制ふ　アメリカ明て鉄ちゃふ　多奈田、

山田江町　字治に元ちゃ茶冥業　七郎村、

一新後の豆記　電信で学ふ始早　小　赤岩村、

恵一乃幣　牛乳用ひて白糞瀬敷　春和
旅おツ衣　風呂さ先の井亭新室れ　詠月
行服の吉助　長屋一等に晴分ホ　清生
娘う来てみゝ　一チ、在つ来りや角折しる　冨村、
嘘の花噴泉　掃摘了寄に下案藪敷　二本木村、
娜娜ナ撲揺　丹むもめるん雑文ホ　秀但
気宮　瀬東におけるり山記く　松蔵
業業ナ撥足　恋含ハ皆同生ホ　トゝく
膵右に瘤　脇若りきれナ汗斗立ツ　肩眠
藤森の一束　若ハ妓の気業浜也面ミかく　柳水

初春

アメリカ店に舞をの状足く　無鶴
花花瓶の安後家　改革よりよ長煙草ナ　一幸
呉作親父　悴ハ悴に運を怒気無以　春和
妖娜ナ撲揺　熱で通鋒よ義理譲よナ　文魁
白帆の文字板　休ミとる荷は棒よ切り数　野鶴
立志ヒ勤ろ仁　揚て脇右奴ゝ惚数　一多
破綻堀ハドンタク　松葉いぶして燻播め　熊見町、
茶つけ飯　悟気出し嬉まさらハぬ　新宮村、
飼てある座犬　アメリカ作り薬湯立ツ　千鶴村、
つぎ足けの串て　床下聊る撥かめ以　松文

蕣に茶　留主まもる垣老の垣に　三橋亭、

紅海の三尺帯　撲濱ゆかん留ふとん　西川村、

月読みる螺　雅ても嫩して見つけける　多喜亭　素知

羅に世わ秋又　吾知ほどなふと深上戸か　赤羽村、

地球儀床の床　指もコル学の牛乳きむ　安塚村、

陶芳ちに撲揺　雷電さんの緒夜ゆりし　松本丁　松夕

町　鶴　陶筒居に建つ地形弛る　錦——

て呈撲く　唯く嘴しやと井戸洋ぶ　多喜亭　玉里

ヘッで張りし柱　稚ら撰る子七宝匠く　レン天丁　一橋

掛かけく襟　大江陸撲甚の眼が出る哉　西原村、

岨の雪解　吉よ洋弄書きくな　ヨシカモ　秀月

素貞嫋ら娘　女郎娼で針一筒か　ハンダ　白旗

きくしく旧所　再く茶揺器織見る　三橋亭　錦友

ちらちらん　擲府よ綴開こまりまつ氏　尾ナダ　半田、

肌身き弁で女ぬ　華る出そわる清行態以　多喜亭　里松

十年あつ此現あ　左も稀子為ら写化あ　安塚村、

為かいの性　原書労とり新包つまむ　長次侍、

鉄道に大恋人　何はなるも洋弄ナ　赤根村、

蛉の彩　長く徒刑よ懺悔らく　宮城村、

めちやく瓦斯燈　てきよさやの茶風まナ　松炒

書田とよく
吳及上多
罪化也事
ロレノ四ツ鈴鹿八
夕紅葉
川舟宮の橋も
むよさ夕月
病こ雲瞬
粘　柳
俳ゝは郡蓋

作る手稲よ海奥智る　蒙美
貸さはよ多分のいこと　平野村、
雲ゝは新海ゝ　三枝也　年女
際雲ゝ新　ゴユ　秋水
祝云は海ゝ　幣　地鶴村、
写ゝも首ゝ手拭　ふ　ノミ　如徳
雅ゝ多ゝ　僕　四ゝ　尾チタ　半田、
さゝ宮ぬゝで　舞　ふぬ　ホミ　鶴　地
張ゝ海ゝ　多ゝ　船新　ウ　姫　乐
以年稼ゝ　寿稼ゝ　九久平村、

二八九
ニタムラレン

春　風　回地の京へ徐ゝ　ノホ　美水
社新緑の嶽　実出ゝ　ワミタムラ　遊月
ゝ山元町　数　カヤノハラ　毎白
工、寺　ふ　ア　ノミチ　多月
新　ゝ　新ゝ　多　作向く
ゝ湯　ゝ眼のあく　姫　杏村、
吹出ス　笠　械で　ゝ味　ゝ平村　鶴　松
珠数ゝ　ゝ　ゝ新　門　新ゝ　千種也、
新　裕　写ゝ　ゝ　セトガ、
山百ゝ町　新鶴　ゝ新　ゝ　多月

かう雅な秋　桃実ザブに立ッ寺ッせおッ　投町、
もしれ笑暑子あきさ出て腐　輪乳垣を傍又まうけ　ト豆
耶子入るゝ汗　要たは亜桃の砂漠泣く　歎き、
そこまろしう　お節こ待つ利つるどやハナ　高野村、
どみなふ暖風　写古待ちれ飯湯急く　撫母、
もこ宗手紅な桜　出発お宿料おどろぬ　斥友
菊お茶　秋尾て蓮つぬる　愛村、
魚子皿を片　戌採子かとあくるそ　融津村、
蜻蛉後蔭の床　老鬮論子息甘添茴　多矣き
飯露　添秋おろしの封錆る　西の所、

狂俳集州賣捌書林

名古屋本町通	各書林	新城　萬屋英吉
仝　中市場町	皓月堂與助	挙母　文會堂笑三
知多郡半田	永樂屋出店	新谷　和泉屋平左エ門
美濃岐阜	成美堂源助	西尾　閑裕堂萬
仝	東崖堂弥左エ門	仝　鹿嶋屋重兵衛
仝　笠松	玉井屋忠造	仝　博聞社
仝　大垣	本屋慶助	岡崎　日進堂左橋
仝	平流軒利兵衛	仝　松原宗太郎
遠江濱松	白木屋鍵次郎	仝　近藤巳太郎
豊橋本町	環屋正兵衛	仝　紙屋新三郎
仝　呉服町	高須屋又八	仝　連尺町四番地
同	平松茂八	水屋文造版